

安全上のご注意 必ずお守りください
火災や感電、怪我などを未然に防ぐため、ダイソン掃除機をご使用になる際には、事前に以下の「警告」及び「注意」、図で表した注意事項をよく読み、必ずこれに従ってください。

警告
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

注意
人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

- 警告
- ・お使いのコンセントの電圧が、製品仕様に記載されている電圧と適合していることを必ずご確認ください。
 - ・掃除機の一部に瑕疵があったり、紛失・損傷している場合は、いかなる箇所であれ掃除機をご使用にならないでください。
 - ・掃除機の電源コードが破損した場合はただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードの交換が必要です。電源コードの交換は、特殊な工具や専門技術を要するため、ダイソン社以外による修理・交換はできません。
 - ・コンセントに電源プラグを差し込んだまま掃除機を放置しないでください。掃除機のお手入れやメンテナンス作業を行う前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・小さいお子様が掃除機に近寄ったり、掃除機で遊んだり、また、掃除機をご使用にならないよう、くれぐれもご注意ください。
 - ・この取扱説明書で指示されている内容以外の掃除機のお手入れ、特に電気部分に関わる部分のメンテナンスおよび改造は、行わないでください。
 - ・電源コード、電源プラグ、または掃除機本体が破損した場合、あるいは掃除機を落としたり、水やその他の液体をかけたしまった場合は、ご使用にならないでください。
 - ・電源コードを無理に引っばったり、掃除機本体などでひいたり、ドアにはさんだり、鋭利なものに引っ掛けたりしないようにしてください。電源コードが損傷する恐れがあります。また、電源コードは熱いものの近くや、その上に置かないでください。コードが損傷した場合は、「ダイソンお客様相談室」にご連絡ください。
 - ・屋外、風呂場、シャワー室内、ぬれた床面などでご使用になると、感電の危険性がありますのでおやめください。
 - ・ぬれた手で掃除機を操作したり、電源プラグに触れたりしないでください。
 - ・アスベスト（石綿）、アスベスト塵、その他の有毒物（コピー機のトナーなど）を吸い取ることは絶対におやめください。
 - ・掃除機のお手入れをするときは、本体を水に浸すことはおやめください。水洗いできるのは、クリアビンだけです。
 - ・電源プラグをコンセントから抜く前に、掃除機のスイッチをOFFにしてください。
 - ・電源プラグが傷んだり、コンセントや電源コードの差込がゆるいときは、ご使用にならないでください。
 - ・付属の電源コード以外のコードは、ご使用にならないでください。
 - ・電源プラグのホコリなどは、定期的に取り除いてください。

- 注意
- ・ご使用前に必ずサイクロン部を本体の正しい位置に取り付け、フィルターを装着してください。
 - ・ダイソン社製、またはダイソン社が推奨する部品以外は、ご使用にならないでください。メーカー保証が無効になる場合もあります。ご不明の点がありましたら、「ダイソンお客様相談室」にお問い合わせください。
 - ・じゅうたんによっては、ご使用中にクリアビン内に静電気が発生する可能性があります。この静電気はコンセントの電気に関連するものではなく、まったく危険はありません。ただし万全を期すため、クリアビンにたまったゴミを捨てて、クリアビンのなかを水洗いするまでは、手や物をなかに入れないでください。網目状シリンドーについたホコリを取り除くときは、ブラシや湿らせた布をご使用ください。
 - ・掃除機の開口部や稼動部分に身体の一部、衣服、その他のものを近づけたり、挿入したりしないでください。また、開口部のいずれかが空気の流れを妨げる可能性のあるものでふさがれているときは、掃除機をご使用にならないでください。
 - ・掃除機を運ぶときは、ハンドル部をお使いください。
 - ・この掃除機は一般家庭用ですので、業務用などには使用しないでください。用途に適さない使用をされた場合、故障の原因になったり、製品の寿命が短くなることがありますが、保証できないことがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは必ずプラグ部分を持って抜いてください。

電源コードを掃除機で吸い込まないでください。

水やその他液体を吸い取る行為は絶対に止めてください。

階段を掃除するときは、掃除する人より上の位置において掃除するのは絶対に止めてください。

火気に近づけないでください。

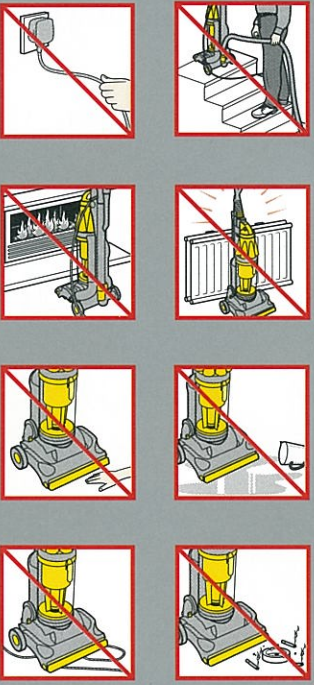
引火性のあるもの、可燃性の高いものの傍でのご使用やそれ自体を吸い込むことは止めてください。

火の気のあるものを吸い込むことは止めてください。

クリーナーヘッドの吸い込み口や回転部に手を触れないでください。

ダイソンお客様相談室
ダイソン カスタマーサービス

ダイソンの掃除機は2年間のメーカー保証付です。保証登録カードに必要事項をご記入の上、ダイソン宛にお送りいただくと保証登録できます。製造番号を事前にご確認の上、ダイソンお客様相談室にお電話ください。VIN番号、製造番号を事前にご確認の上、お客様相談室にお電話ください。



dyson helpline

ダイソン お客様相談室
0120-295-731

Eメール：japan.helpline@dyson.co.jp

www.dyson.co.jp

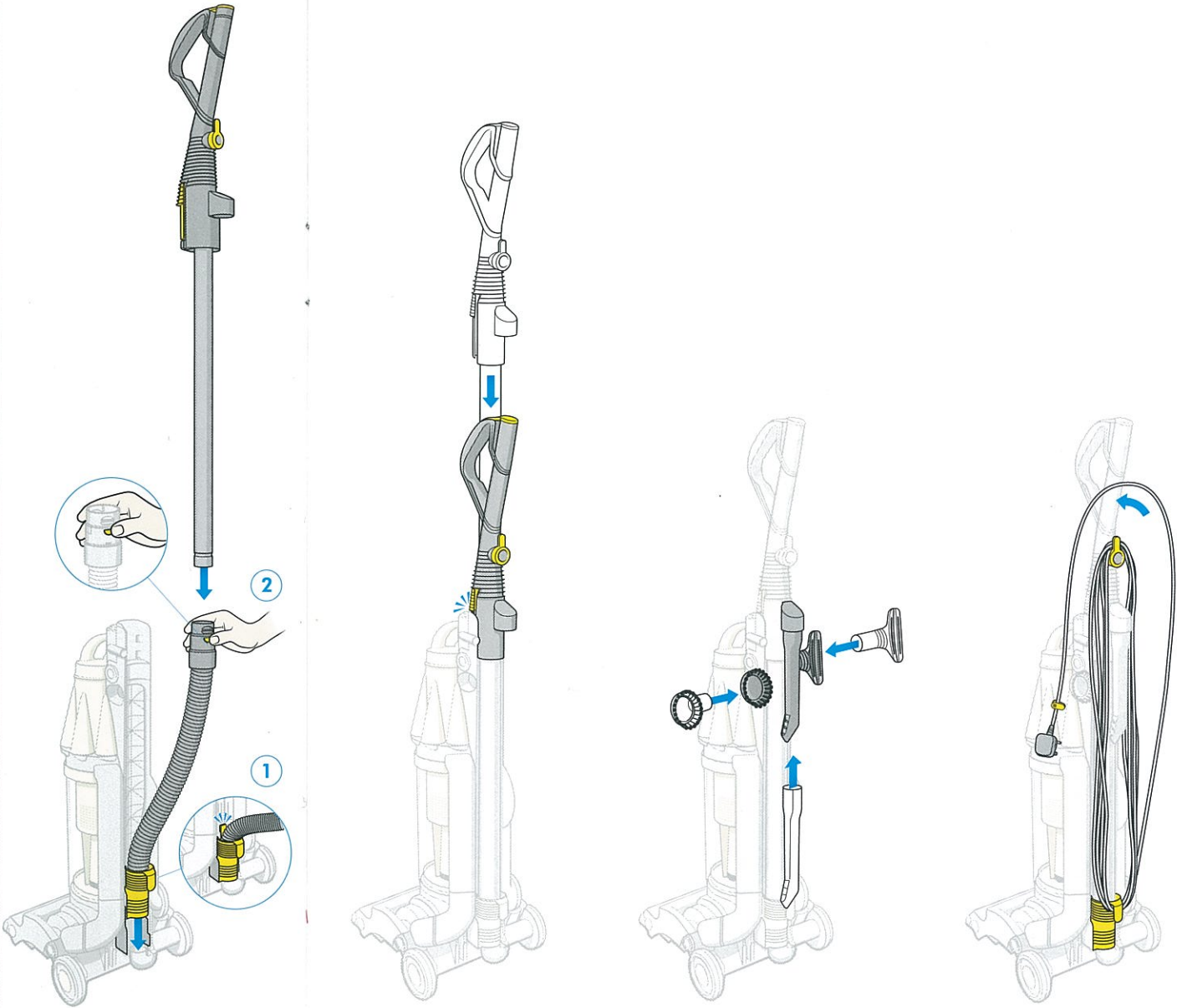
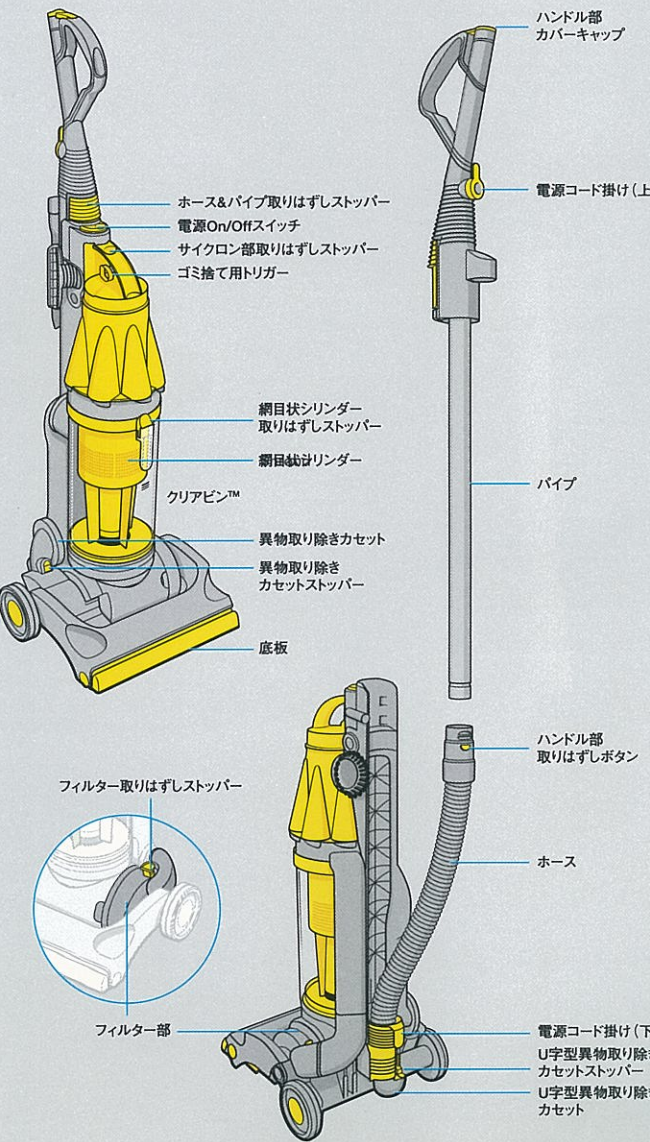
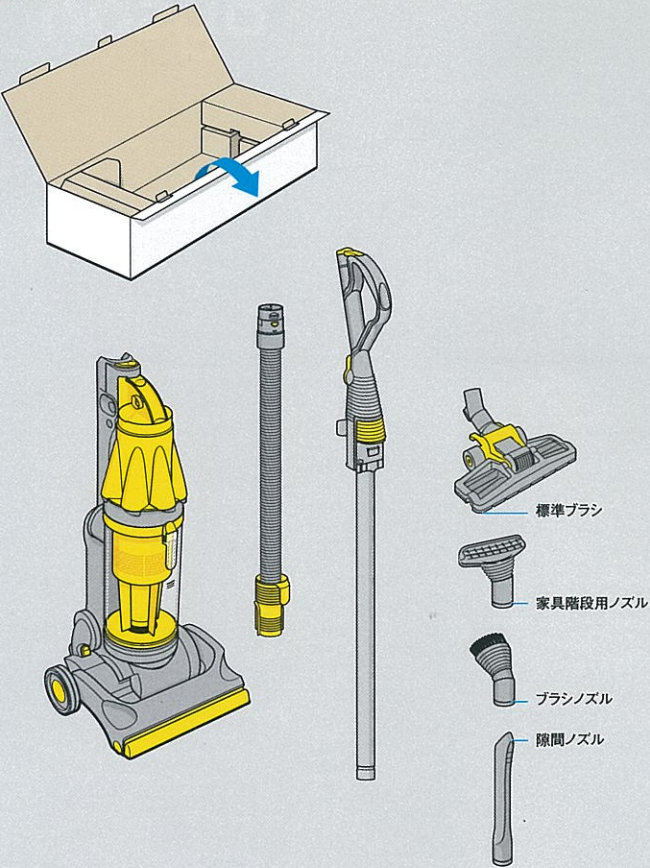
PN.04482-07-01 JN.8533 12.06.03

dyson

DCO7 取扱説明書

ご使用前に必ずよくお読みください。





掃除機の組み立て方

- 1 ホースの根元を本体裏のホース差込部分に、カチッというまで差し込みます。
- 2 ハンドル取りはずしボタンを押して、ホースの中にパイプを挿入します。

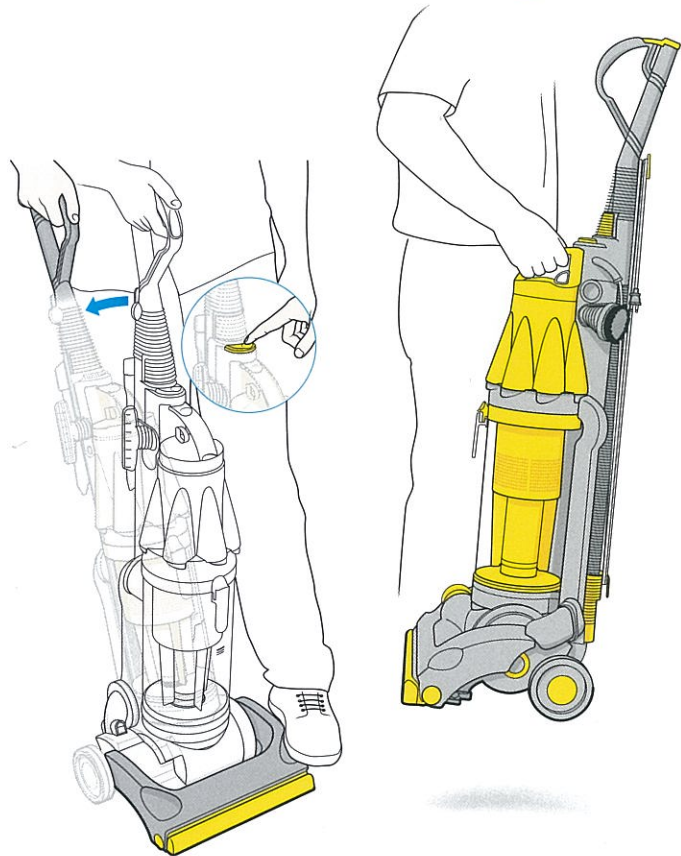
異物を取り除いたら、ハンドル部を本体に戻します。カチッというまで奥に差し込みます。

付属品をもとに戻します。

電源コードを反時計回りにまいて、最後にクリップで留めます。

注意 持ち運びの途中で本体を振ったりしないでください。

注意 持ち運びの途中でサイクロン部取りはずしストッパーを押さないでください。本体が外れるおそれがあります。

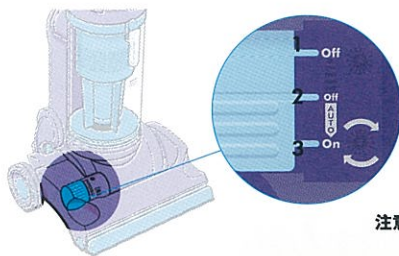


DCO7の使用法

電源コードをコンセントに差し込み、電源On/Offスイッチを押します。ヘッド部分を倒し、ハンドル部を手前に引いて操作します。

ブラシコントロール

ブラシ調節を行う前に本体が直立状態になっていることを確認してください。

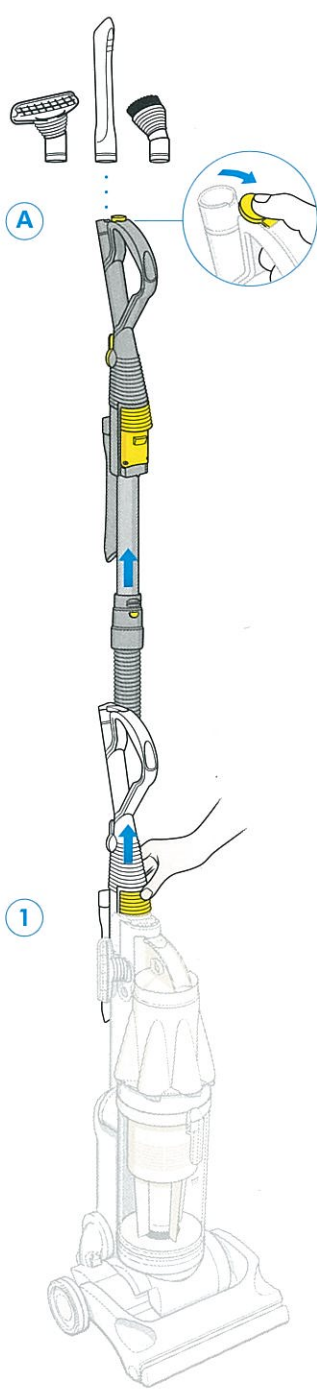


1. 畳・フローリングの掃除には、手動でOffに切り替えてください。
2. 掃除機本体を直立状態にするとブラシはOffになります。伸縮式ホース&パイプを使って掃除するときは、この状態にしてください。
3. じゅうたんはブラシをOnにして掃除してください。直立状態からは自動的にOnになります。手動でOffの状態になっているときは、手動でOnにしてください。

注意 回転ブラシは掃除機本体を傾けて掃除を開始するまで回転しません。

DCO7の持ち運び方法

ハンドル部を持って持ち運びます。



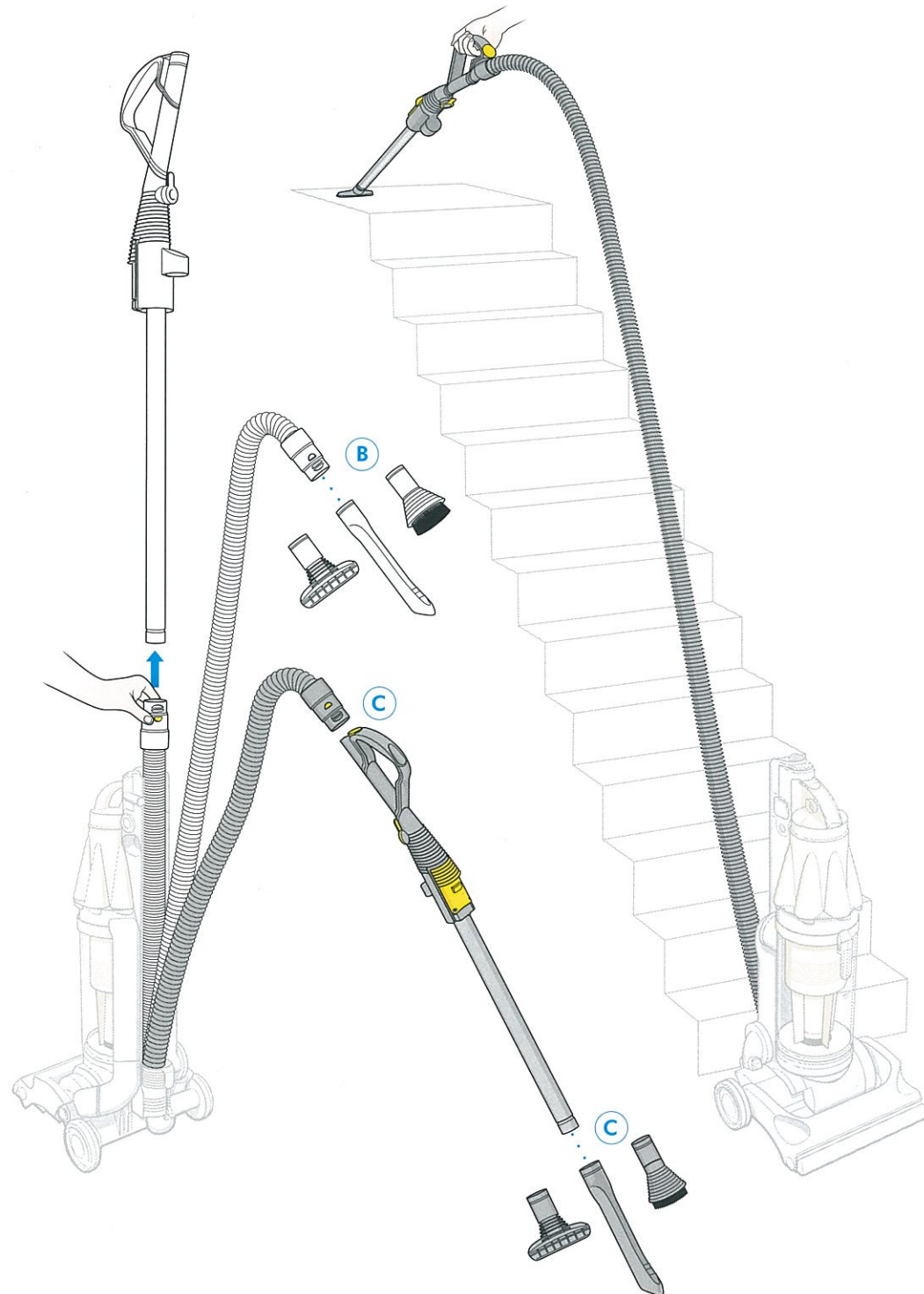
付属品の使用方法

付属品のとりつけを行う前に本体が直立状態になっていることを確認してください。

1のようにホース&パイプ取りはずしストッパーを押して、パイプを伸ばします。

A ハンドル部カバーキャップをスライドさせ、付属品を取り付けます。

注意 付属のブラシノズルや家具階段用ノズルは角度調整してご使用ください。



ハンドル部取りはずしボタンを押してハンドル部分はずします。

B 付属品をホースに直接取り付ける場合
付属品をホースの先端に直接取り付けてください。狭いスペースの掃除に便利です。

注意 髪や服の布などが吸い込まれないよう、ご注意ください。

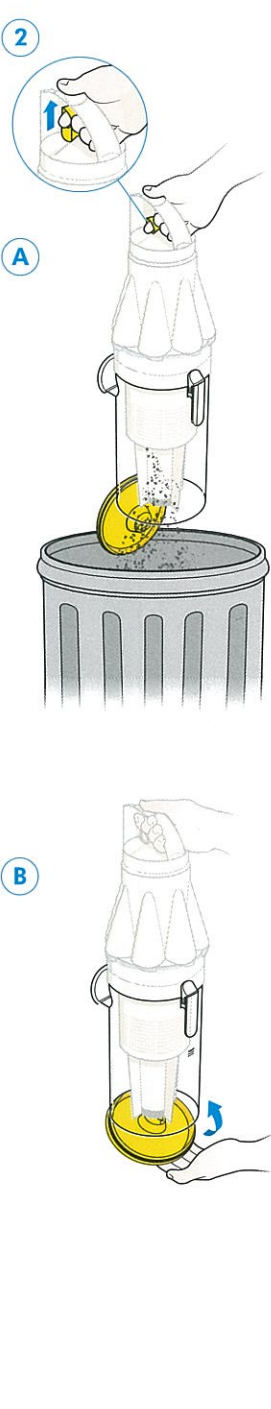
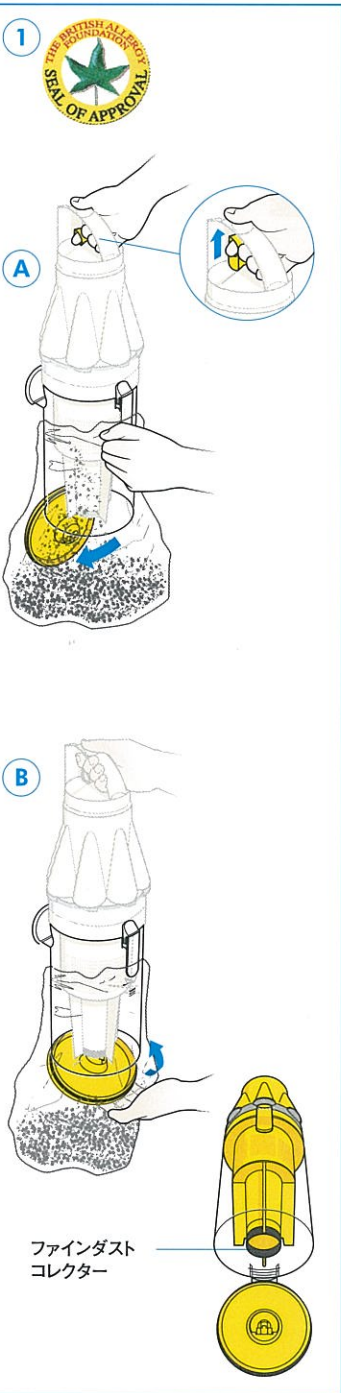
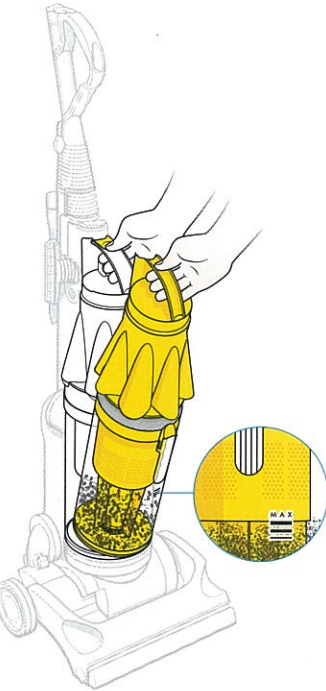
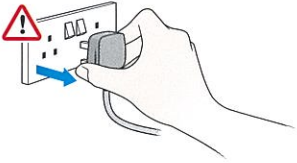
ハンドル部を逆にしてホースに取り付けます。

C ハンドル部を逆にして付属品を取り付ける場合
パイプの先端に付属品を取り付けます。天井などの高く届きにくい場所の掃除に便利です。

階段の掃除
掃除機本体を階段の下に置いてください。

注意 吸引力が強く、本体が固定されず移動する場合があります。階段での掃除には特にご注意ください。

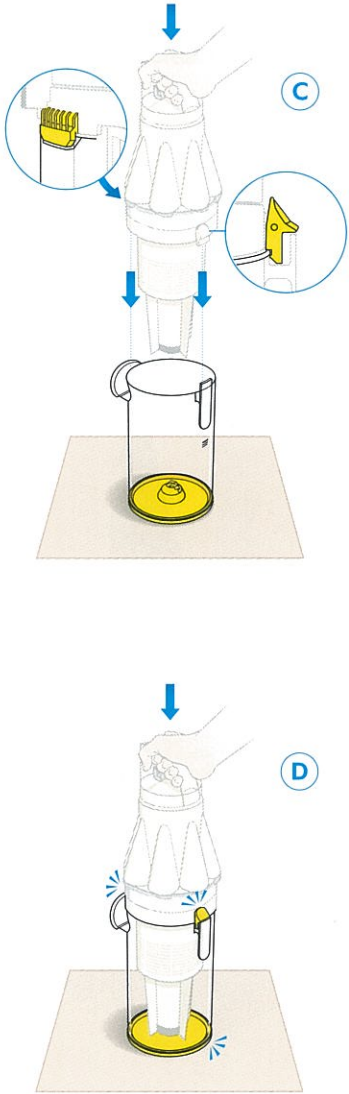
ゴミを捨てる前にコンセントを外してください。





この製品は、英国アレルギー協会から、アレルギーに悩んでいる人々にとって害を及ぼさない程度まで、ハウスダストやアレルギーをカーペットから取り除くことができる掃除機として選ばれています。本紙の手順に従って、掃除機の取扱いとゴミ処理を行うことをお奨めします。

英国アレルギー協会(The British Allergy Foundation): 1991年にアレルギー専門家によって設立された慈善団体で、アレルギーに関する機関として英国で最も権威のある協会



ゴミの捨て方

重要
ゴミがクリアビン™のMAXの線までたまったら、捨ててください。サイクロン部のハンドルを握りながら、サイクロン部取りはずしストッパーを押して手前にひきます。

- 方法 1**
(アレルギー等でお悩みの方にはこちらの方法をお奨めします)
- クリアビン™の外側を布で拭きます。
- A** クリアビン™のふちをビニール袋でびったり覆い、ゴミ捨て用トリガーをひいてゴミを捨てます。クリアビンを振って、サイクロン内部の細かいゴミも取り除きます。
- B** ビニール袋の中のゴミが舞わなくなったら静かにクリアビンの底フタを開めて、それからビニール袋を外します。

- 方法 2**
- A** ゴミ箱に直接ゴミを捨てます。クリアビン™を振って、サイクロン内部の細かいゴミも取り除きます。
- B** クリアビン™の底フタがしっかり閉まっていることを確認して、本体に戻します。

網目状シリンダーのお手入れ

クリアビン™の中のゴミが捨てられていることを確認し、底フタを開けます。網目状シリンダー取りはずしストッパーを押して、クリアビンを外します。



網目状シリンダーを乾いた布やブラシできれいにします。

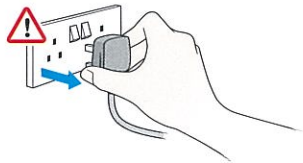
- クリアビンは水洗いできます。
- 洗剤等はご使用にならないでください。
- 掃除機そのものは水につけないでください。
- 本体に戻す前に、完全に乾いているか確認してください。

C クリアビン™を平らなところに置きます。網目状シリンダー取りはずしストッパーとクリアビンの持ち手部分、網目状シリンダー後ろ側のツメとクリアビン後ろ側のツメ受け部分をそれぞれ合わせカチッというまで押します。

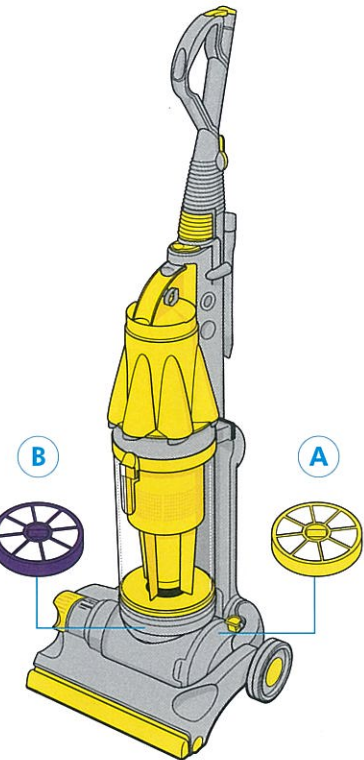
D クリアビン™がしっかり取り付けられていることを確認し、本体に戻します。

注意 クリアビン™を取り付けていない状態では使用しないで下さい。

フィルターを外す前にコンセントを抜いてください。



注意 この掃除機は家庭用に設計されています。粉末の石膏や小麦粉などを大量に吸引しないでください。



フィルターのお手入れ方法

- A プレモーターフィルター**
6ヶ月に1度を目安に水洗いしてください。非常に細かいゴミを高い頻度で吸引している場合は、お手入れの回数を多くすることをお奨めします。
- B アフターモーターフィルター**
アフターモーターフィルターはお手入れの必要がありません。はずしたり洗ったりしないでください。

プレモーターフィルター取りはずしストッパーを奥に押してプレモーターフィルターをカバーごとはずします。

図のように本体に張られているステッカーにフィルター洗浄の目安月をマークしておく便利です。(6ヶ月毎)

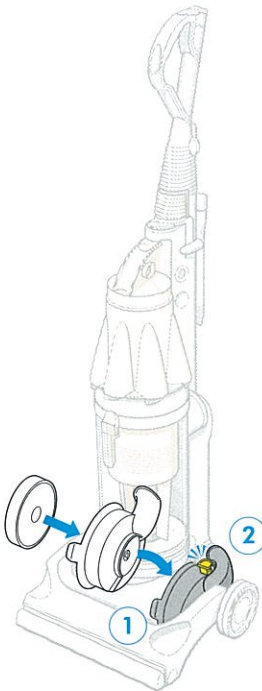
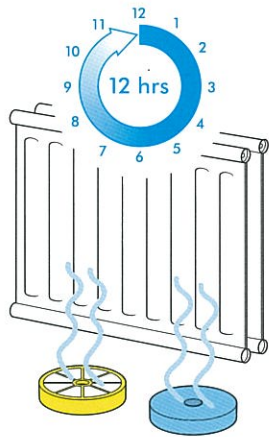


プレモーターフィルターのケース部とスポンジ部をカバーから外します。

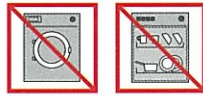
水洗いします。

お湯や洗剤を使用しないでください。

洗濯機や食器洗濯機では使用しないでください。



上図1と2のように、スポンジ部分とケース部分を別々に水洗いします。



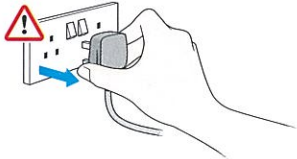
フィルターを完全に乾燥させてから本体に装着します。少なくとも12時間乾燥させてください。



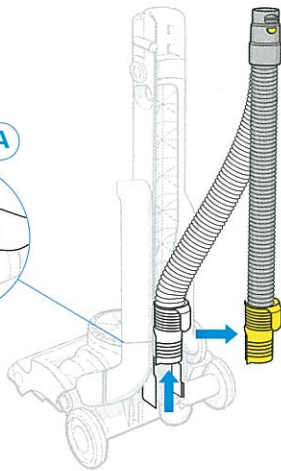
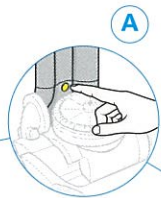
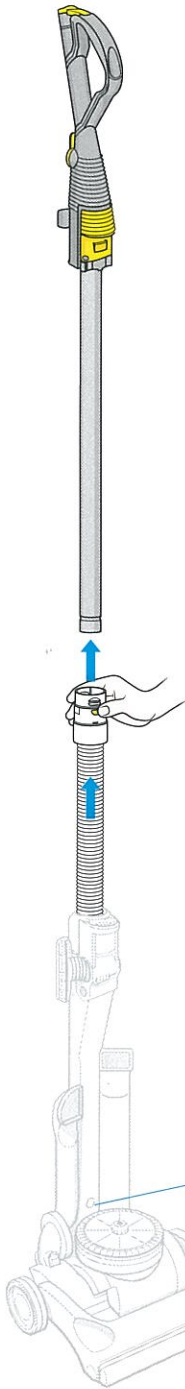
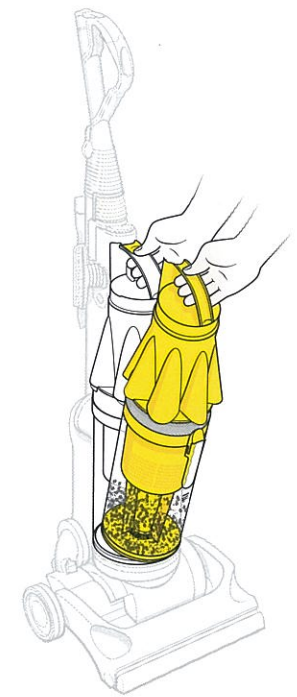
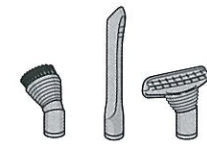
スポンジとケースが完全に乾いたら、図のように元に戻します。1で全体を押さえ、2のストッパーを手前に倒して固定します。

注意 フィルターを装着しない状態では掃除機本体を使用しないで下さい。

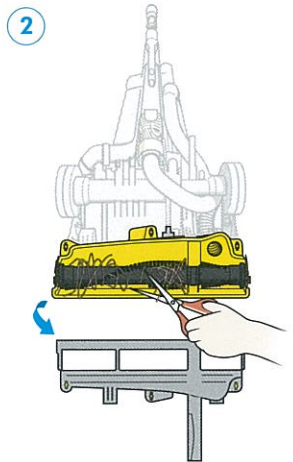
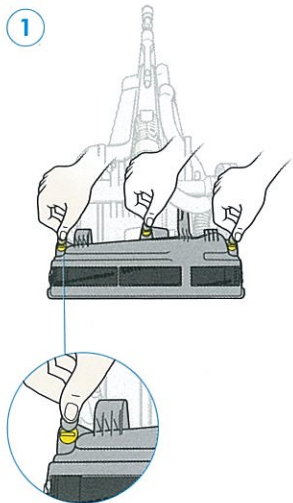
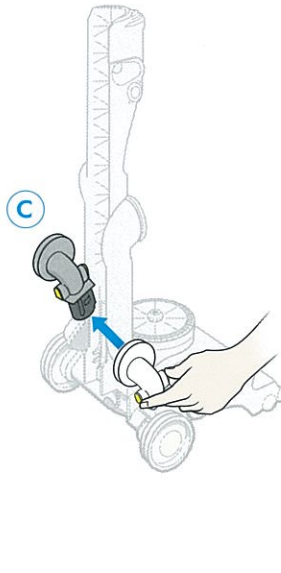
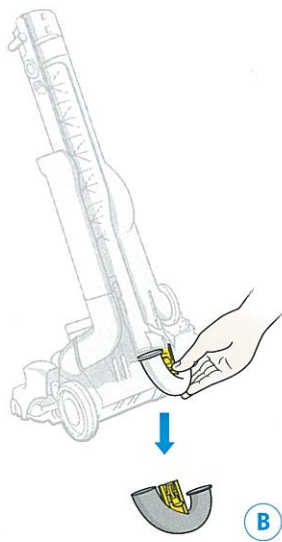
異物の確認等の前にコンセントを抜いてください。



異物除去はメーカー保証には含まれません。また、異物除去のみの修理は行って降りません。以下の図と手順に従い、異物を取り除いてください。



注意 ブラシ部分がカチカチという音がする場合は、回転ブラシに異物がつまっている可能性があります。電源コードをコンセントから抜いてから、異物を取り除いて下さい。



異物の見つけ方と除去について

ご使用のブラシ等に異物が詰まっていないか確認してください。

サイクロン部分を本体から外します。

注意 空気の流れが妨げられると、モーターが熱くなる前に自動的に運転を停止します。

ハンドル部

ハンドル部を取りはずし、異物がつまっていないか確認してください。

ホース

ホースを取りはずすストッパーAをおしてホースを本体からはずします。異物が詰まっていないか確認してください。

異物が鋭利な場合は取扱に注意してください。

U字型異物取り除きカセットの確認方法

本体を前傾させ、BのようにU字型異物取り除きカセットを外します。異物がないか、確認してください。

注意 本体をご使用になる前に、外したパーツが元通りにしっかり取り付けられているか、ご確認ください。

異物取り除きカセット

カセットの両端を押さえてCのようにパーツを取り除きます。異物がないか、確認してください。

回転ブラシ

本体を裏返して寝かせます。

1 硬貨などで図のようにツマミをゆるめます。

2 底板を取りはずし、異物が詰まっている場合は回転ブラシから取り除きます。底板をもとに戻し、ツマミがしっかりしまっているか、確認してください。

底板をもとに戻し、ツマミがしっかりしまっているか、確認してください。